



内田 勇 議員

質問

地域交通の確保を

町長 小さな拠点づくり推進とあわせて検討したい

質問 高齢化等による免許証の自主返納の状況は。

福祉事務所長 町内における65歳以上の運転免許返納者は、

平成24年13名、平成25年35名、平成26年32名、平成27年43名、平成28年60名、平成29年54名で年々増加している。

質問 免許証を返納された方、地域住民

の足をいかに守るかが重要になる。病院や買い物などの移動、外出支援の環境整備が求められる。

町長 平成24年7月から運転免許を自主返納された高齢者を対象にバス、タクシーを利用できるサポート券2万円分を3年間交付している。

地域づくり推進委員会です。小さな拠点づくり推進にあわせて地域交通のあり方を検討したい。

以下は、奥出雲病院医師・看護師確保のために返済不要の奨学金等に活用できるようにする。

ふるさと納税で課題に挑戦

質問 平成20年度から28年度までの9年間で約2億8,600万円がふるさと納税で寄付されており、29年度は1年で3億円近い金額が全国から寄付されたことは本当にありがたいことである。

まず第一に未婚化、晩婚化が進む中で、婚活支援を地域で高めることが大切である。出合いの場の提供や経済的支援だ。

二つ目は、奥出雲病院医師・看護師確保のために返済不要の奨学金等に活用できるようにする。

三つ目は、たたら製鉄に関する調査研究と維持存続のために活用することである。

町長 ふるさと納税は、人を動かす力もあり、多くの可能性を秘めており、知恵を絞って、寄附者、地元の企業、住民の皆様にメリットが生まれる取り組みを考え、提案の課題に対しふるさと納税の活用について検討したい。

働き方改革

質問 第三セクターあるいは町で働き方改革のために出勤、退社の管理を適正に行うタイムカード導入の実施で長時間労働防止をすべきだ。

町長 働き方改革は、事務や事業の見直しや効率化もあわせて行う必要があり、国の法改正に応じて導入することも考えた。

運転免許証を自主返納された方へ

外出時などに利用できる

「高齢者生活交通サポート事業」があります

★奥出雲交通・町内タクシー・宅配サービスに利用できる

高齢者生活交通サポート利用券を交付します。
(2万円ずつを3年間交付)

【対象者】

免許証を自主返納された65歳以上の方
(原付免許返納者も対象)

【提出書類】

- ①運転免許証の取消通知書(警察署で作成されます)
- ②返納後の運転免許証
- ③印鑑
- ④奥出雲町高齢者生活交通サポート事業利用券交付申請書
(役場・福祉事務所にあります)

【申請窓口】

奥出雲町役場・福祉事務所(仁多庁舎2階)
税務課(横田庁舎1階)

求められる地域交通の確保

町長 ふるさと納税は、人を動かす力もあり、多くの可能性を秘めており、知恵を絞って、寄附者、地元の企業、住民の皆様にメリットが生まれる取り組みを考え、提案の課題に対しふるさと納税の活用について検討したい。